

② ページの内容をご確認頂き、アンケートにお答えください。

世帯配布のアンケートは、各世帯1部の送付としております。
 さらにご協力頂ける場合は、お手数ですがアンケート票をお近くの市町村役場などにも設置しておりますので、そちらをご利用頂くか、インターネットからの回答も可能となっております。

●津軽自動車道(柏～浮田)付近の現在の国道101号についてお伺いします。以下の設問にお答えください。

■問1 国道101号をどのくらいの頻度で利用しますか？※1つ選ぶ

| | |
|--------------|--------------|
| 1. 毎日 | 2. 週に数回程度 |
| 3. 月に数回程度 | 4. ほとんど利用しない |
| 5. 利用したことがない | |

■問2 国道101号の主な利用目的は何ですか？※複数回答可

| | |
|------------|---------------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 通院 |
| 3. 家事・買物 | 4. 業務(営業・運送等) |
| 5. 観光・レジャー | 6. その他 |

■問3-1 国道101号の柏から浮田間(対象区間)において、どのような交通問題や課題を感じていますか？※複数回答可

1. 信号交差点や沿道からの出入り箇所が多い
2. 目的地までの時間がかかる(冬期には速度が低下)
3. 交通事故のリスクが高い
4. 通行止め時に長時間の足止めなどとなる
5. 道路の幅が狭く走りにくい
6. 農耕車や歩行者、軽車両(自転車等)との混在が危険
7. 積雪や吹雪などで冬期の走行性が悪い
8. その他 ※回答欄の[]内にご記入下さい

■問3-2 「問3-1」でお答え頂いた中で、場所や時期なども含め具体的な実体験を教えてください。

※場所について②ページのA～Oの区間で教えて下さい

■問4 当該地域(対象区間)には、どのような機能を持つ道路が求められますか？ ※複数回答可

1. 冬期の影響を受けにくいこと
2. 救急病院に早く行けること
3. 自然災害や交通事故で通行止めになりにくいこと
4. 通行止めになった時でも代替路を確保できること
5. 最短時間で結ぶ物流経路を確保できること
6. 観光交流を促進すること
7. 交通事故が少なく安全に走行できること
8. その他 ※回答欄の[]内にご記入下さい

■問5 これまでの質問以外に、意見がありましたらお聞かせ下さい。

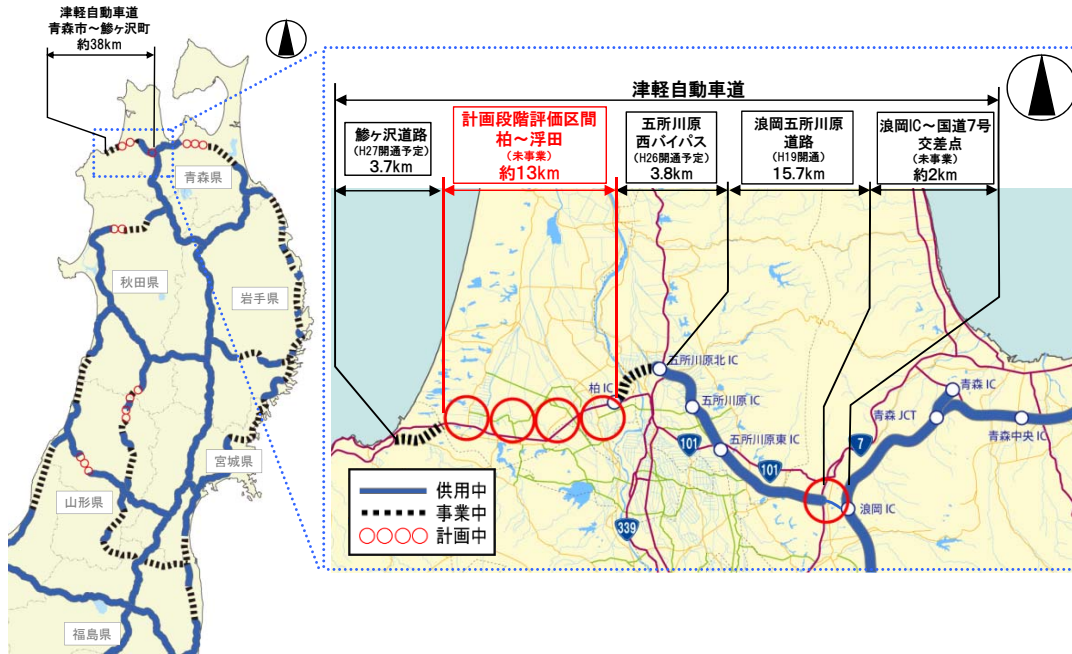
回答欄にご自由にお書きください。

◆**返信方法** ※下記のいずれかで返信してください。
 ①お近くの郵便ポストに投函してください。
 ②国道事務所、西北地域の各市町村役場並支所、道の駅(もりた・つるた・なみおか)、海の駅(わんど)等の回収ボックスに投函してください。
 ◆**締切** 平成●年●月●日までをお願いします。

ご協力ありがとうございました。

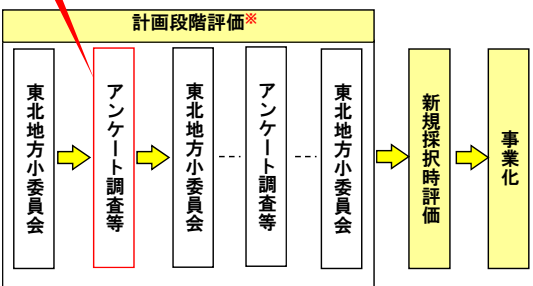
津軽自動車道(柏～浮田)の計画検討に関するアンケート(第1回)

津軽自動車道は、青森市から五所川原市を通過して鱈ヶ沢町に至る延長約38kmの高規格幹線道路です。
 本調査は、未事業化区間である柏～浮田間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きするためにアンケート調査を行うものです。
 今回のアンケート調査では、地域の皆様が日頃感じている道路交通や地域の課題等についてご意見をお聞きしたく、ご協力をお願いします。



※本調査で頂いた皆様からのご意見は、計画段階評価※における地域からの意見として「社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会」に報告いたします。

今回のアンケートはここです。 計画段階評価の流れ

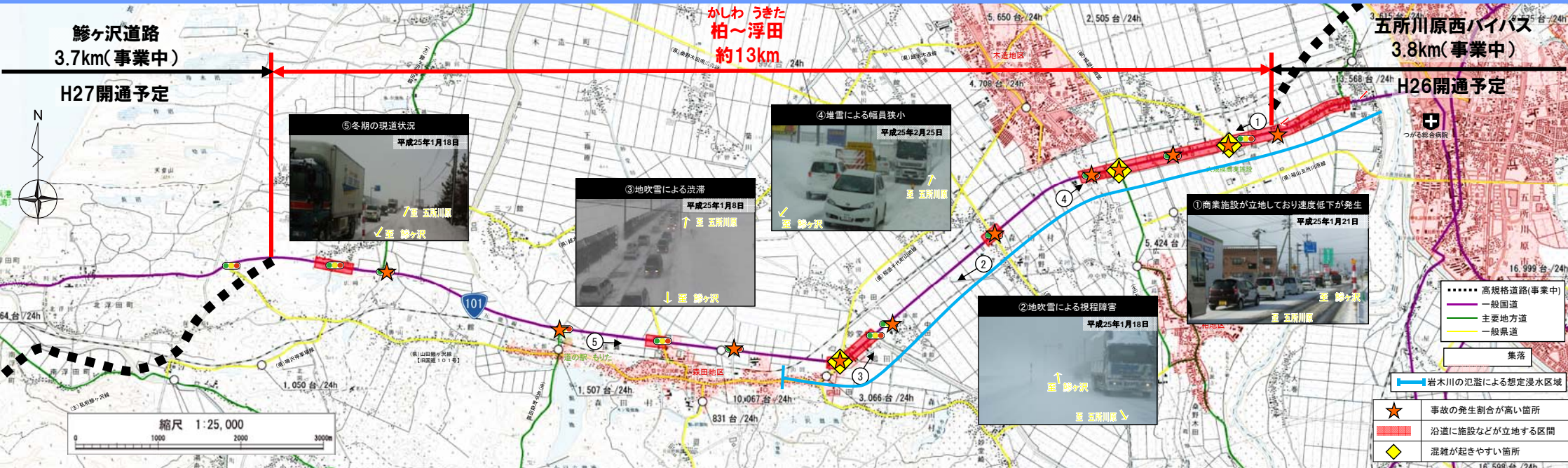


●計画段階評価の詳しい情報や東北地方小委員会の資料等は国土交通省東北地方整備局ホームページでご覧いただけます。
 URL <http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shuinkai/index.html>
 ●インターネットによる回答も可能です。
 URL:<http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shuinkai/index.html>
 東北地方整備局、青森河川国道事務所、青森県のほか、西北地域の各市町村ホームページのバナーからも御利用いただけます。

津軽自動車道(柏～浮田)ご意見募集 (月 日まで)

●アンケートに関するお問い合わせ
 青森河川国道事務所 調査第二課
 TEL:017-734-4570 FAX:017-722-2384

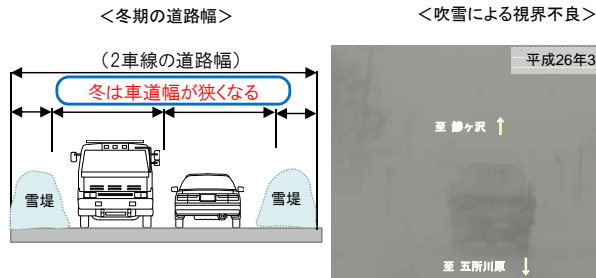
対象区間の現状



一般国道101号(対象区間)で考えられる主な課題

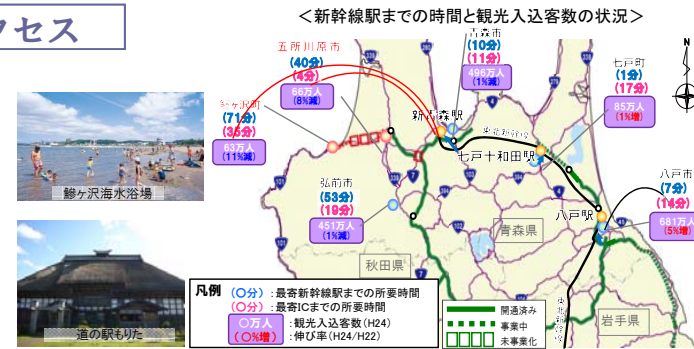
1) 冬期の道路状況

●冬期は積雪により道路の幅が狭くなっているほか、地吹雪によって視界が悪くなるなど、安全な運転が困難な状況になっています。



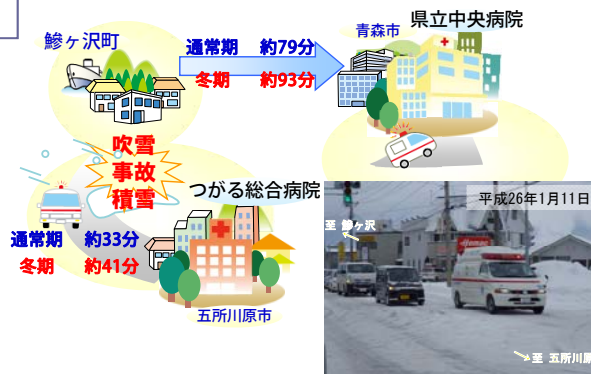
3) 観光拠点へのアクセス

●高速道路のインターチェンジや新幹線駅までの時間が、青森県内の観光拠点よりも長くかかっています。



2) 医療施設へのアクセス

●重篤な症状で救急搬送が必要な医療施設（青森市など）まで、1時間以上かかっており、冬期はさらに時間がかかっています。
●地域の中核病院「つがる総合病院（H26.4移転開業）」へ通院や救急搬送の増加が見込まれますが、30分以上かかっています。



4) 災害への備え

●内陸と日本海沿岸部を繋ぐ唯一の緊急輸送ルートで、昭和58年の日本海中部地震による津波被害時にも、大きな役割を果たしました。
●しかし、冬期交通の課題や事故による通行止めが発生しているほか、岩木川氾濫による想定浸水区域があります。



出典：日本海中部地震の記録（青森県）